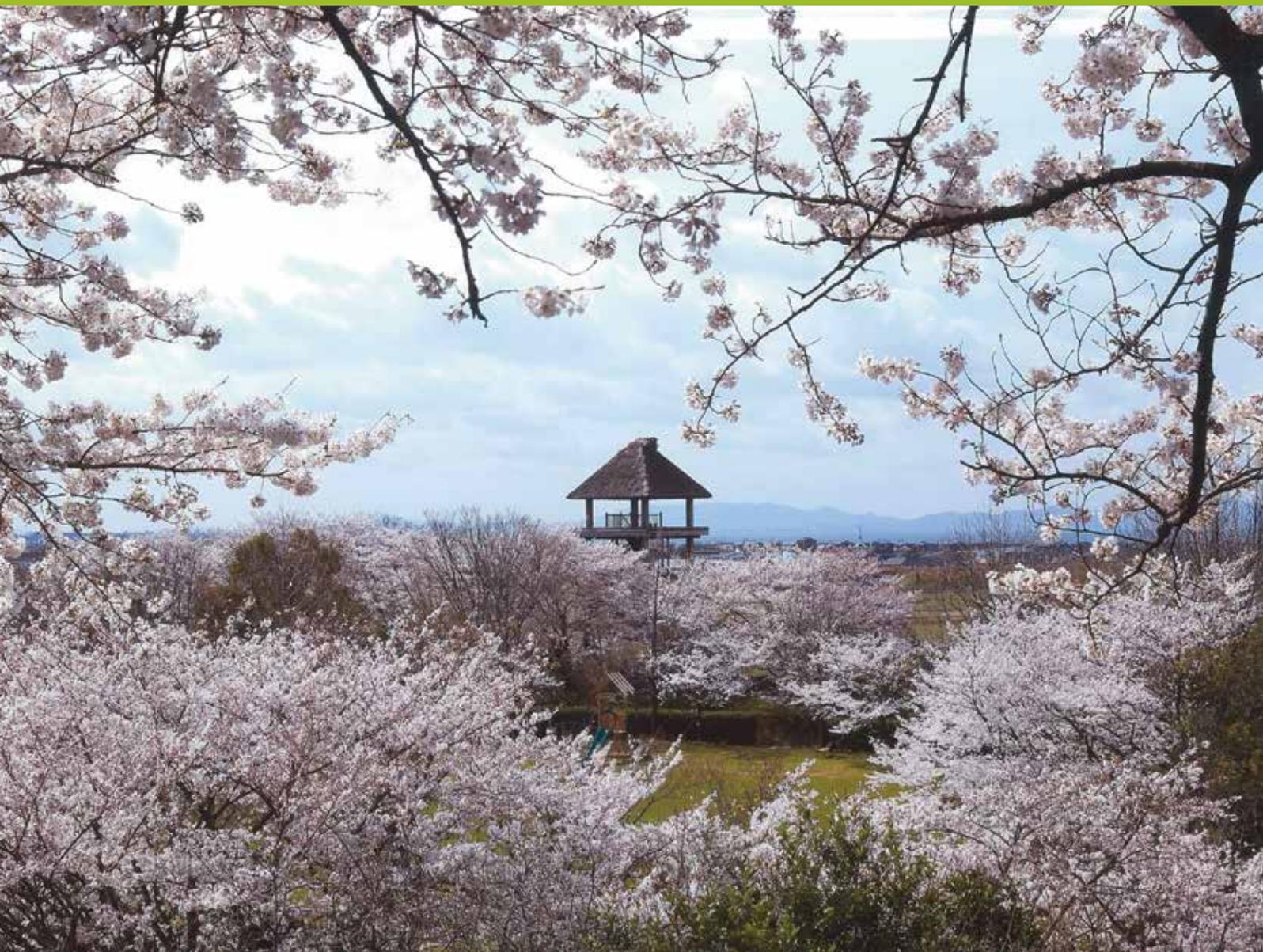


よなご

＊市議会だより

No. **72**
2023.3.1



表紙写真「満開の桜に包まれて」 作品提供：田中 正義さん たなか まさよし

- 定例会のあらまし…………… P2
- 一般質問…………… P3～P14
- 3月定例会日程…………… P15
- 議案等審議結果一覧表…………… P16～P18
- 委員会視察報告…………… P19～P20



令和4年12月定例会のあらまし

令和4年12月定例会は、12月1日から21日までの21日間の会期で開かれました。

開会日の12月1日には、市長から「米子市市税条例等の一部を改正する等の条例の制定について」などの議案16件について提案理由の説明がありました。

12月5日、6日、8日及び9日の4日間は、23人の議員による市政一般に対する質問が行われました。

12日から15日まで及び19日の5日間は、議案の審査等のため、委員会が開催されました。

最終日の21日には、まず各委員会の委員長から議案等の審査報告があり、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり決しました。

次に、市長から「財産の取得について」などの議案4件が提案され、委員会審査の後、原案のとおり可決されました。

最後に、市長から「人権擁護委員候補者の推薦について」の諮問1件が提案され、原案のとおり同意されました。

なお、今回審議された案件は

別表のとおり26件で、審議結果については、16ページから18ページまでの一覧表のとおりです。

別表

区分	件数
議案	20
諮問	1
陳情	5
合計	26



あなたの声を市政に!

12月定例会では、23人の議員が各質問を行いました。

紙面の都合上、質問と答弁を要約しています。詳細は市議会ホームページのインターネット録画配信、または、会議録をご覧ください。

「一般質問」とは、議員が市の一般事務について、市長及び執行機関に対し質問を行うことです。「一般質問」には以下の方法があります。

- 各質問：議員が個々の立場で質問を行う
- 代表質問：3人以上の議員が所属する会派の代表が行う
- 関連質問：代表質問を行った議員と同じ会派の議員が関連した質問を行う

※会議録は、議会事務局、各公民館、市立図書館でご覧になれます。

かどわき かずお 議員
門脇 一男 議員
【自由創政】



中心市街地(商店街)の活性化について

議員 今後の商店街のにぎわいづくりについて、本市としてはどのような考えなのか伺う。

市長 にぎわいの拠点となる施設の整備や、青空マーケット、地ビールフェスタなどの新しい集客イベントにも必要な支援をする。また、インフラの整備を行い、「歩いて楽しいまちづくり」の事業において、商店街に人が集まりやすく回遊性が高まるようにしたい。

議員 商店街における歩いて楽しいまちづくり「ウォーカブル推進事業」の計画について伺う。

総合政策部長 本通り商店街においては、道路の美化、下水道の整備を計画している。また、アーケードの撤去を振興組合において計画されている。

議員 アーケードの撤去について

市長 このアーケード撤去自体を商店街の機能強化への取組と捉え、歩いて楽しいまちづくり、ウォーカブル推進事業にも該当する。撤去後は、路面の美化等により商店街エリアの魅力が向上し、中心市街地の回遊性や民間投資が高まることから、本市としても支援したい。

議員 歩いて楽しいまちや商店街をつくるために、お年寄りや障がいをお持ちの方など、全ての方が歩いて楽しいまちを感じられるよう「ベンチのあるまちづくり、みちづくり」を提案したいがどうか。

総合政策部長 歩行者空間にベンチを置くことはにぎわいの創出にもつながり、「歩いて楽しいまちづくり」にも合致する。今後、道路、公園整備等に併せて、滞在環境向上のためのベンチなどの休憩施設について、設置することを検討したい。

議員 単に休むだけのベンチではなく、語らいの場、読書の場、眺望の場、交流の場など、憩いの場としてのベンチの活用を考慮し、にぎわいの創出を図っていただきたい。

いwasaki やするう 議員
岩崎 康朗 議員
【自由創政】



ウォーカブル推進事業について

議員 ウォーカブル推進事業、歩いて楽しくなるようなまちづくりについて伺う。

市長 ウォーカブル推進事業とは、町なかを車中心から歩行者中心の空間に転換をし、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場に変えていくことであり、人が自然と集まってくるような居心地がよく歩きやすい町なかの形成によって、まちの魅力向上のため基盤を整備し、にぎわい創出につなげることで、持続可能なまちづくりを目指している。

総合政策部長 歩いて楽しいまちづくりの取組によって、歩行者の滞在性、回遊性の向上による地域消費や投資の拡大、そしてさらには観光客の増加、健康寿命の延伸、コミュニティが生まれることによる孤独、孤立

防止のほか、様々な地域課題の解決ですとか、新たな価値の創造につながる



とだ りゅうじ 議員
戸田 隆次
【自由創政】



狭あい道路整備事業について

■議員 本市内においては、救急車・消防車等通行できない狭あい道路が多数みられる。昨今は避難道路の確保も必要不可欠である。そういう様態を解決すべく同事業の促進の観点から、重要かつ政策的に予算措置対応すべきではないか。

■市長 狭あい道路については、日常生活はもとより、災害時の避難などに支障になると考えており、本事業の重要性については十分に認識し、道路拡幅整備事業、狭あい道路拡幅整備事業の2つの事業で対応しており、予算について段階的増額対応し事業を推進したい。

■議員 予算措置等について他の事業とのバランスを取りたいとのことであるが、狭あい道路の解決は日常生活に関わる大きな問題である。施策の在り方を

選択され、市民の声を聞き事業の促進を図るべきではないか。

■市長 狭あい道路の拡幅の必要性については、議員御指摘のとおり十分に認識している。本事業については、大事業となるため、政策的判断が必要と考えている。現在は、地域からの要望を基に内部的基準を踏まえ判断し対応している。さらに狭あい道路の解消に向け努力する。

まちづくりについて

■議員 米子港周辺に、かわまち事業が推進されているが、米子駅、彫刻ロード、米子城跡、かわまちの一体的構想としてい

る。しかし、かわまち事業において、市民、観光客が集いたたずむエリアの整備がない。今後の方向性について伺う。

■市長 市民等がたたずむエリアの整備は不十分と認識している。今後、歩いて楽しいまちづくりの創出に向け、例えば道路の一方通行、車道を狭め歩道を広くしたたずむエリアの確保、ベンチを置く等憩いの場所を確保したいと考える。

(その他の質問項目)
○日野橋について



いとう ひろえ 議員
伊藤 ひろえ
【信風】



フードドライブの取組について

■議員 令和4年度、県下一斉フードドライブとして、県内全ての市町村で取組を行った。本市の取組状況について伺う。

■市民生活部長 鳥取フードドライブに参加し、事業実施の際にはクリーンセンターとふれあいの里に受付窓口を設置し、市民や企業などから食料、飲料などを受け入れている。

■議員 災害備蓄品についてはどのような位置づけか伺う。

■防災安全監 更新に伴い、賞味期限が近づいたものを子ども食堂等へ提供するほか、地域の防災に関する行事等への提供や市が行う防災訓練で活用している。

■議員 災害備蓄品の中にはウエットティッシュや生理用品、紙おむつなどもある。「日用品ドライブ」として有効活用を要

困難な問題を抱える女性への支援法について

■議員 昨年度の女性相談の件数と内容、年代別相談件数、相談主訴を伺う。

■こども総本部長 相談件数695件のうち、40代が266件、30代が166件、20代以下が132件、50代以上が98件、不明が33件である。相談の主訴としては、夫等の暴力、次いで離婚問題、親族等の暴力、病氣、精神的な課題が多かった。

■議員 新法では目的や基本理念に女性の福祉の増進とともに、人権の尊重、擁護が明記され、包括的支援体制の整備が求められている。今後は新法に沿い、人権擁護、男女平等の視点から総合的な支援体制として取り組まれるべきであると考ええる。

(その他の質問項目)
○障害者優先調達推進法について



おおした てつじ 議員
大下 哲治
【信風】



古代の丘公園について

■議員 国内最大級の吉野ヶ里遺跡にあるやぐらは、もともと淀江町稲吉地区で発掘された土器に描かれていたやぐらをサンプルとしていたことから、古代の丘公園にあるやぐらは特別なものであり、町民にとってもシンボリックな存在であることから保存してほしいとの声が上がっているが当局の見解を伺う。

■淀江支所長 修繕は行わず撤去することとしているが、施設群のシンボリック役割を担い目印になっていることから、設置場所である瓶山を施設群の目印となるような活用方法も検討する必要があるため、撤去については瓶山の保存活用方法計画に基づく整備と時期を併せ実施する方針である。

■議員 やぐらの周りに人が入らないよう周囲の柵同様にいく



おくいわ ひろき 議員
奥岩 浩基
【自由創政】



子育て環境について

■議員 コロナ禍において、なかなか活動ができていない子ども会もあったとそく聞する。子ども会を中心とした活動が活発になると、将来の地域コミュニティの形成や存続にも寄与する

■市長 子ども会を通じて地域の様々な世代の人々、地域コミュニティや民間団体、企業、行政などの主体が協働して子ども会活動を通じて子どもの育ちを支援していくことは重要なことだと考える。また、そのような取組を重ねることで、活動が活発になり、次代の地域を担う保護者世代や子どもたちの支え合いの心、郷土愛が育まれ、地域の連携強化やコミュニティの維持、発展につながると考える。

■議員 地域コミュニティをし

と竹を使った柵を設置し、観賞用の建造物として残していただくよう要望する。

淀江傘の継承について

■議員 古代の丘公園や地元の日吉神社等にて和傘やランプシェードを使った光のイベントなどを実施し、より多くの方々に目にしていただき、商品の魅力を知っていただくための情報発信と販売促進の取組が必要ではないかと思いが見解を伺う。

■市長 生産及び販売に関する提案の件については、今後の淀江傘の発展、振興のためにしっかり検討をして、できることを生産者の皆さんと話し合いながら進めていきたいと思う。

■議員 現在の和傘の生産体制では和傘の継承が難しい状態となっている。引き続き米子市指定無形文化財となっている淀江傘の製造技術を絶やさぬよう支援の継続を強く要望する。

(その他の質問項目)
○古代の丘公園の祭広場と体験館の活用について

つかりと再構築していく上で本市として、子育て環境、子ども会活動に対し積極的に関与すべきと考える。情報連携や予算を考えた際、本市単独のみならず、国や県とはどのような協力体制があるか。

■市長 先般、公益社団法人全国子ども会連合会の令和4年の第1回の子どもの体験活動推進政策委員会が開催され、自治体委員として私も出席をし、文部科学省の担当者と直接意見交換を行ったところである。今後、同委員会において、市内で実施される子どもの健全育成活動に支援する市の取組についても紹介することとしている。国や全国各都道府県の子ども会連合会との意見交換の中で協力体制を構築していき、本市の取組を見直しながら、国に対して必要な要望や提言も行っていくと考えている。

■議員 非常に心強い。子ども会を中心とした地域コミュニティの再結成、子育て環境の整備に役立てていただきたいと考える。

(その他の質問項目)
○歩行者等の安全確保について
○投票所について

各個質問



あだち たかし 議員
安達 卓是 議員
【信風】



障がい者の福祉サービスについて

■議員 障がい者への日常生活
基盤支援の取組について、その
目的と計画内容について伺う。

■福祉保健部長 このサービス
等利用計画は、障がい福祉サ
ービスを利用する方の生活状況や
課題を踏まえ、自立した生活を
送るために必要な支援や援助に
ついて、その方針や障がい福祉
サービスの内容や量だけでなく、
生活に関わる福祉、医療、教育、
就労などの機関とともに連携し
て本人にとって最も適切な支援
について検討を行い作成するも
の。本人を継続的に支援するた
めの総合的な支援計画である。

■議員 国では今後、法改正を
予定している、地域の関わりと
して障がい者の生活と質的向上
を目指した改正内容が審議され
ていると聞く。それについて市
の担当者の考えをいただきたい。

■福祉保健部長 障がい者が安
心して生活できるように総合的
な視点で支えていくための計画
と認識している。安心して生活
できるような体制づくりという
ことで取り組んでいく考えであ
る。

買物困難者等への支援の取
組について

■議員 高齢化が進んでいる地
域では買物困難な方々への支援
は大変身近な課題である。この
地域課題について実態把握が必
要と考えるがどうか。

■福祉保健部長 高齢者の方の
生活実態の把握は必要であると
考えており、3年に一度、介護
認定のない方、要支援1、2の
高齢者を対象に介護予防・日常
生活圏域のニーズ調査を実施し
ていて地域ごとの実態把握をし
ている。そのほか、地域ケア会
議や地域活動支援の中で地域の
生活実態や困り事などの把握に
努めている。

■議員 今後の本市の方針につ
いて伺う。

■総合政策部長 移動販売事業
等については、買物困難者のニ
ーズに沿った支援が継続できる
よう対応したい。

スマートシティ構築の実現
に向けて

■議員 本市もAIを活用した
呼出型最適経路バスの実証実験
を進めてはどうか伺う。

■総合政策部長 本市は今後、
バス路線の再編を検討してい
くが、再編の結果、交通空白地が
生じた場合、AIを活用したオ
ンデマンドバスも含め、地域の
移動手段を検討することになる
ものと考えている。

■議員 保有するデータ管理な
どを官民で進めるオフィス拠点
を開所し、首都圏などのICT
関連企業が機能移転できる受皿
として、新たな雇用の機会が創
出され、若年層の地元定着や地
域活力の維持発展を目指し、魅
力ある米子としていけると考え
るが、本市の見解を伺う。

■市長 本市は補助対象業種の
範囲を拡充し、広くICTを含
む情報関連企業へ、支援を行う
姿勢を打ち出している。今後も
その時々の経済情勢や、ニーズ
を見つつタイムリーな支援を行
うことで、ICTを含む情報関
連企業の進出、業容拡大につな
げたいと考える。

各個質問

■議員 他市ではCO₂と経費
削減のため、LED照明リース
契約を実施して実績をあげてい
るが、本市の道路照明灯をLED
照明への切替計画と、LED
化にした場合、どのくらい電気
料金が削減となるのか伺う。



■都市整備部長 本市は203
0年度までに市内の全ての道路
照明をLEDに切り替えていく
計画で、市の所有する道路照明
灯は約4000基でLED化さ
れていない約2700基を全て
LED化すると、あくまで試算
であるが、年間約570万円の
削減幅となる。

■議員 かなりの電気料金とC
O₂の削減効果が期待できると
考える。経費削減でも他市で実
績のあるLED照明リース契約
の考えについて、本市も検討い
ただけるよう要望する。



とくだ ひろふみ 議員
徳田 博文 議員
【公明党議員団】



物価高騰に対する総合経済
対策の取組について

■議員 物価高騰に対する総合
経済対策の取組のうち、特に地
域エネルギーとしてのLPガス
の重要性について、本市の所見
を伺う。

■経済部長 市民にとってガス、
電力等は、生活をする上で欠か
せないエネルギーである。その
中で都市ガスと並び相当数の利
用者があるLPガスは、重要な
社会インフラであると認識して
いる。

■議員 地域の方より、物価高
でLPガス料金が上昇したとの
声がある。地方交付金を活用し
LPガスユーザーへの支援を行
き渡らせることは可能と考える
が、本市の所見を伺う。

■総合政策部長 支援は、市民
に広くという観点から全国おこ
め券の配布事業、そのほか必要
な事業について予算計上した。

■議員 毎日の生活に欠かせな
いエネルギー代負担軽減のため
の対策が今こそ必要である。生
活者目線に寄り添ったさらなる
支援を要望する。

子ども子育てとしての多胎
児家庭への支援について

■議員 多胎児家庭への具体的
な支援体制について伺う。

■子ども総本部長 出産前の相
談、出産後に乳児全戸家庭訪問、
赤ちゃん訪問などを実施し、保
健師や母子保健推進員が多胎児
の育児について、困り感に寄り
添いながら対応している。

■議員 多胎児に特化した支援
策を伺う。

■子ども総本部長 多胎児向け
の妊婦健診の費用助成や、福原
子育て支援センターで月1回、
保護者同士の情報交換の場を設
け開催している。

■議員 多胎児家庭への支援策
の拡充について伺う。

■市長 ニーズを捉え支援策の
拡充を検討したい。それぞれの
世帯の状況を丁寧把握し、活
用できるサービスを提供しなが
ら、母子を含む家族全体への支
援に取り組んでいきたい。



もりたに たかさ 議員
森谷 司 議員
【無所属】



いじめ問題とハラスメント
問題について

■議員 今の日本は社会におい
て政治倫理、企業倫理、性倫理
などモラルが低下している。児
童生徒のいじめ問題と大人社会
のハラスメントは無関係ではな
いと思う。本市の小・中学校の
いじめの実情を伺う。

■教育長 令和3年度に83件の
認知件数があり、その多くが解
決済みである。継続指導や観察
中の事案についても心理的な影
響が緩和されるなど改善が図ら
れている。

■議員 先日、米子市議会議員
を対象に議会基本条例の研修を
受けた。本市のハラスメントの
実情と取組を伺う。

■総務部長 令和3年には懲戒
処分に至った事案が1件。毎年
ハラスメント防止研修を職員に
実施し、意識啓発を行っている。
■議員 道徳と倫理の意味、違

いについて伺う。

■教育長 道徳は社会全体にお
ける善悪の判断基準において、
正しい行為へと自らを促す個人
の内的な自覚性を重視するもの
で、倫理は特定の集団や職業に
おける善悪の判断基準で、客観
性を重視するものである。

■議員 倫理は職業倫理、政治
倫理などがあり、守らなければ
罪に問われる可能性がある。倫
理の特徴は「秩序」がある。秩
序が軽視されると秩序が乱れ、
倫理社会が崩壊する。その意味
で、いじめ問題も社会のハラス
メント問題も共通している。

スポーツ文化の推進について

■議員 心技体を基本とした日
本のスポーツ文化は道徳が目指
す人格形成に大きな効果がある。
スポーツ文化の教育的な価値を
伺う。

■教育長 礼儀、努力する心、
規律の尊重、相互理解などの教
育的な価値が得られると考える。

■議員 教育の成果は義務教育
を終えて、どう社会に旅立つか
に教育の真価が問われる。教育
が人をつくり、人がまちをつく
る。

各 個 質 問



つかだ よしみつ 議員
塚田 佳充 議員
【自由創政】



米子市内の野球場について

■議員 米子市民球場の利用者からの声で一番多い、スコアボードを全て電光にすることに伺う。

■市長 米子市民球場のスコアボードは、現在磁気反転式を採用しているが、平成2年の竣工以来大規模改修を実施していないため、老朽化が進んでいる状況である。米子市民球場は、山陰最大級の野球場として各種大会が開催されており、今後も存続させていく施設として位置づけているところである。よって、スコアボードの更新については、米子野球協会や米子少年野球連盟からも要望をいただいていることから、実施をしたいと考えており、来年度から調査設計に着手することを検討しているところである。近年の野球場のスコアボードはLED式のもので

主流となっているため、米子市民球場のスコアボードについても、更新する際にはLED式のものを検討していきたいと考えている。

学校施設の長寿命化計画について

■議員 学校の運営費について、年間約4億円から成る運営費の一部の光熱費を抑えるために、LED化への早期工事をすべきではないか。

■教育長 学校施設のLED化を進めるといふ具体的な計画はないが、経費削減をしていく、脱炭素社会への取組を推進するといった両面から重要なことであるので、学校施設を改修や改築する際にはLED化を進めていきたい。また、水銀灯や蛍光灯やハロゲンランプの生産が徐々に減少しているため、これと併せてLED化をさらに加速していかなければならないと考えている。

(その他の質問項目)

○高齢者・障がい者施設の食材費について

学校給食費の無償化を



にしこおり ようこ 議員
錦織 陽子 議員
【日本共産党米子市議団】



学校給食費の無償化を

■議員 全国の学校給食費の無償化は5年間で3・4倍になり、県内でも大山、日野町等5自治体で広がっている。この動きについて教育長の所見を求める。

■教育長 全国の動きは承知している。本市は生活保護世帯10割、準要保護世帯7割補助をしており、今年度は食料費の高騰分を国の交付金を活用して保護者負担の軽減をした。無償化は考えていない。

■議員 境港市が実施している同時在学3人以上の多子世帯への減免を実施すべきだ。財源は幾らか問う。

■教育委員会事務局長 一部無償化は考えていない。境港と同様の多子世帯減免の場合、約2600万円必要である。

■議員 就学援助世帯の給食費の無償化を求める。財源はいく

らか問う。

■教育委員会事務局長 無償化は考えていない。約3800万円の財政負担である。

■議員 まさに子育て支援、ゼロ回答だ。就学援助の制度を利用できない児童・生徒も多い中、月々一番お金のかかる給食費の無償化は助かる。せめて多子世帯・就学援助世帯への無償化に踏み出すべきだ。

産廃処分場計画の中止について

■議員 淀江町住民を中心に行政への不信感、ダイオキシンなど環境汚染への不安感は拭えない。淀江町の母親有志の会は地下水等調査会の専門委員による報告会を改めて求めておられる。県に求めるべきではないか。

■市民生活部長 地下水等調査会のまとめで結果は信頼度が高いと評価され、本市もそのように認識しており、本市から県に説明会の開催は要望しない。

■議員 7月の報告会では調査会の専門委員に考えを直接聞く場がなかった。調査に何億円も県はかけており、報告会で委員が説明するのは、当然だ。



にし の たいち 議員
西野 太一 議員
【自由創政】



学校給食の黙食緩和について

■議員 文科科学大臣から、必ずしも黙食を求めているわけではないという発言があり、学校での黙食を緩和する自治体が増えてきているが、本市では黙食は継続されている。中学1年生でコロナ禍生活が始まった生徒は、あと3か月で卒業である。3年間会話することすら許されない給食の時間を過ごしたことになる。大人たちは自由に飲食し、子どもたちは黙食を強制させられている。そこで、県の方針や通知を待たず、県内でいち早く、本市の給食時における黙食を緩和させることはできないか。

■教育長 県の通知はまだ届いていないが、本市としては国がそういった通知を出されたことにより、給食時における児童生徒間の会話を可能としたいと考えている。

にぎわい創出 夜間タクシー「相乗サービス」について

■議員 コロナ禍で疲弊してしまつた夜の繁華街である。現在では終電時間も1時間早まり、都会では公共交通機関に乗って数百円で帰宅できるのに、地方ではタクシーで何千円も払って帰宅しなければならぬ。そこで、21年11月に国土交通省が導入したタクシーの相乗りサービス制度を、夜間繁華街向けに導入することは可能か。

■総合政策部長 このサービスについては、運輸局などの関係機関と連携して調査研究してみたいと考えている。

■市長 何よりもタクシーや飲食店などの事業者が元気になるような政策を、本市としてしっかりとしていきたい。

(その他の質問項目)
○スケートボードパークについて

米子市のまちづくりと社会的共通資本について

■議員 米子市のまちづくりは社会的共通資本の理論を取り入れる考えはあるか。

■総合政策部長 その考えは、既に本市のまちづくりにも共通するものと考えている。

■議員 新鳥大病院建設において、社会的共通資本としての病院が重要視されている。公園も社会的共通資本であるが、湊山公園の土地を病院建設に提供するのにも決まったことか。

■総合政策部長 病院からそういった申し出はまだない。

■議員 新病院建設において、市民の分断を招かないよう慎重な合意形成を図るのが本市の役目と考えるがどうか。

■総合政策部長 議会に説明し、議会の合意を図りたい。

■議員 二元代表制においては議会だけでなく行政の側も市民の意見集約をすべきである。まちづくりへの幅広い市民の参画は、シビックプライドの醸成にもつながる。無作為抽出手法や加古川版Decidimなど新しい手法についても調査研究に取り組まれない。

各 個 質 問



なかだとしゆき 中田利幸 議員
【信風】



地域文化財の保存活用について

■議員 創造と挑戦を重ねた文化財が、将来の米子市文化の向上、発展の基礎として、適切に活用されるための文化財保存活用地域計画策定について伺う。

■文化観光局長 地域に所在する文化財の価値を再認識し、市民の歴史、文化に対する意識の向上、地域への誇りと愛着を深めていくことができるよう、文化財と周辺環境を積極的に保存活用するための総合的な計画を策定するものである。

■議員 各地域の文化財には価値づけがされていないもの、忘れられその存在すら認識されていないものなどがあり、今後、開発や地域人口の流動性や少子高齢化等の影響により、地域の歴史、文化の継承が危惧されているが、取り組むべき課題について認識を伺う。

■文化観光局長 地域の身近な文化財を地域の住民の方々に知っていただくことが重要であり、地域の歴史、文化の継承を今後どのように図っていくかが課題である。

■議員 歴史や文化を再認識することで、市民が主体的にそのまちづくりに関わっていく、シビックプライドにつなげていくということが歴史文化の保存活用において必要と考えるが見解を伺う。

■市長 地域に深く根差す歴史を地域住民、市民に知っていたら、理解を深めていただくことから新たな未来に向けての地域住民の活動が始まると考える。先人たちがつくってきた地域を引き継ぎ、後世のために何ができるか考えるプロセスがシビックプライドと見え、しっかりと支援をしていきたい。

■議員 歴史から何を学び、何を次世代に向けて未来に向けて活かしていくかが最大の価値だと考える。先人がどんな苦労や失敗をし、成果を出してきたかを学び、地域文化の保護や継承に取り組み、米子市の新たな創造につながるような文化行政にしていたただくことを要望する。



おかだけいすけ 岡田啓介 議員
【自由創政】



旧市役所庁舎の今後の対応について

■議員 山陰歴史館の現在の状況と活用方法について伺う。

■文化観光局長 総務部を中心とした関係部署や指定管理者である米子市文化財団とも協議しながら、現在、歴史館としてどのような機能を充実させるか、文化財ということを前提に建物などのように改修していくか、あるいは駐車場や前庭などの付帯設備はどうするかなどについて検討しているところである。

■議員 車椅子の方が山陰歴史館に来館された際、非常に見学しづらい状況があることは認識しているか。

■市長 山陰歴史館のバリアフリーについては、そのような構造になっていないため、何らかの形で整えていかなければならないと考えている。具体的には、建物の中に新たにエスカレーター

ーやエレベーターを設置することとは、建物の構造を傷めることにもなるため、可能であれば外づけのエレベーターなどを設置しながら、バリアフリーをしっかりと整えていきたいと考えている。

■議員 山陰歴史館も含めた旧市役所庁舎から米子港に向かっていくと、白壁土蔵群もあり、この地点は下町観光の入り口にもなっている。まさに市長が言われる「歩いて楽しいまちづくり」にとって、重要な拠点になる。そのためにも、山陰歴史館の整備はもっと攻めた形で進めていたいただきたいが、その考え方を伺う。

■市長 米子城跡や下町観光のガイド機能をどのように持たせるか、また貴重な収蔵物をもつという形で保存し、見ていただくように攻めた提案をしていきたいと考えている。

(その他の質問項目)
○米子・境港高規格道路整備計画について
○こども絵本部について
○公共施設における喫煙環境について
○後藤駅周辺の開発状況について



もりたしろ 森田悟史 議員
【無所属】



移住定住政策について

■議員 都市圏に流出した若い人が帰ってきやすい土壌を作った上で、どのような街であれば住み続けたいか、意見を聞きながら定住政策を進める流れが自然だと思いが、見解を伺う。

■総合政策部長 若者の定着を図るには、企業誘致等により、雇用の場を創ることが重要だと考えている一方で、ふるさとへの愛着や誇りの醸成も必要と考えており、ふるさと教育の推進にも力を入れている。

■議員 本市にゆかりのある人に帰ってきてもらうという点では、Uターン政策に力を入れてもいいと思うが、所見を伺う。
■総合政策部長 本市においては移住定住相談窓口での相談対応をするとともに、米子市ビジネス人材移住支援金や本社機能移転等による移住者支援補助金

などの事業を実施している。
■議員 皆生温泉のまちづくりにおいては、様々な主体が取組を実施していると理解しているが、全体の方向性としてどのようなビジョンを掲げているのか伺う。

■文化観光局長 30年後も選ばれ続ける温泉地を目指すとともに、旅館や既存の飲食事業者の方の日々の経済活動に加え公園や海岸、遊歩道、空き不動産などを活用した様々なプレーヤーの方による経済活動が行われ、観光客だけではなく、地域住民の方も訪れ、消費活動が増えるエリアを目指している。

■議員 空き家や公共空間の利活用など、部局横断的にまたがっている課題もあり、縦割り行政では難しい部分もあると思うが見解を伺う。
■文化観光局長 海岸遊歩道の公共照明の整備や、皆生海浜公園の有効活用など、観光課と都市整備部門で連携して進めており、引き続き部局との連携を図りながらビジョンの実現に取り組んでいく。



またのしろ 又野史朗 議員
【日本共産党米子市議団】



ハラスメントをなくすために

■議員 各都道府県の労働局に寄せられた相談内容で、職場におけるハラスメントは、2020年度で9万7000件である。市役所でのハラスメントの相談件数、認定件数について伺う。

■総務部長 相談窓口での相談は年に数件であり、そのうちハラスメントと認定したものは令和3年度に1件である。

■議員 先日秋田県でも、パワハラが原因で自ら命を絶った職員がおり、その後の県の調査ではパワハラを見聞きした人が28人いた。これは、防げた可能性がある。手後れにならないように、積極的に実態調査をする必要があるのではないかと。

■副市長 全庁的に調査をする考えはない。
■議員 時期を失することなく調査をするよう要望する。

西部広域一般廃棄物処理施設整備基本構想の見直しを求めて

■議員 鳥取県西部9市町村の一般ごみを1か所に集めて処理する計画が進められている。その処理内容は、硬質プラスチック残さを焼却する熱回収(ごみ発電)を行うことなどがある。その一方で、プラスチック資源循環促進法が今年4月に施行され、国のごみ処理の考え方が変わってきた。本市の国のごみ処理の方針の認識を伺う。
■民生生活部長 プラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び分別収集物の再商品化に必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

■議員 本市は軟質プラスチックごみを焼却しているが、その量はどのくらいなのか。
■民生生活部長 家庭から出る廃棄プラスチックは3758トンである。
■議員 焼却しているプラスチックごみをリサイクルする方向で検討しなければ、環境破壊が続き、将来にツケを残すことになる。西部広域のごみ処理施設基本構想は見直しをしなければならぬと強く主張する。



わたなべ じょうじ 議員
渡辺 穰 議員
【自由創政】



ケアラ―支援について

■議員 ヤングケアラ―の認知度は低く、聞いたことがないと回答したのは8割を超えている。市内の現状を把握されているのか伺う。

■子ども総本部長 県の実施した意識調査において、小学5年生で1・8%、中学2年生で2%、高校2年生で3・2%である。

■議員 県はヤングケアラ―LINE相談窓口、児童相談所に相談窓口を設置しているが、これらの認知度について十分であると考えているのか伺う。

■子ども総本部長 機会を捉えて周知・啓発に取り組んでいるが、まだ十分であるとは考えていない。引き続き周知・啓発に努めてまいりたい。

■議員 総社市はヤングケアラ―の家庭支援に当たって家庭に



いましろ まさこ 議員
今城 雅子 議員
【公明党議員団】



公立保育所の統合建て替えの進捗について

■議員 子ども・子育て支援事業計画に基づき、今後、公立統合存続、統合民営化に形態が変更となる。今後の統合建て替えに際しての課題や基本的考えについて伺う。

■子ども総本部長 子どもや保護者にとって、これまでの生活環境が変わることは共通の課題であることから、一人一人の子どもに寄り添った保育、保育士と子どもが新しい環境にスムーズに移行できるように、引き続き丁寧に対応していきたい。

■議員 南保育園と成美保育園の統合後の設置場所について、市内中心部でなく反対方向に出勤する保護者もいる。今後の預け先について、しっかりと説明と相談をして欲しいとの声がある。本市の認識について伺う。

■市長 公立保育所の建て替え

訪問して家事代行などのサービスの創設を検討しているが、米子市にそのようなサービスはあるのか。ないのであれば、検討が必要ではないか伺う。

■子ども総本部長 家族の代わりに炊事をするとか、家族の受診同行や送迎といったことが考えられるが、対象とはしていない。支援のはざまにある問題を解決して、子どもらしく学び、遊ぶなど、子どもの権利を保障すると同時に、家族全体の問題として捉え、多面的に問題を解決していくことが重要であり、既存の事業の見直しを含めて、今後検討していきたいと考える。

■議員 学校教育において、正しい知識を指導することは、啓発、相談に結びつけるためにも必要と考えるが、見解を伺う。

■教育長 子どもたちが正しく理解し、あわせて、教職員が理解を深め、子どもたちの置かれている状況を把握することが大切であると考える。

(その他の質問項目)
○インフルエンザ、コロナ感染症同時流行対策について
○市役所の働き方改革について

は、本市の個別構想に基づくものであり、保護者が統合に当たり抱かれる不安や疑問点など、米子福祉会と協働してその都度、個別、丁寧に対応し子どもや保護者が安心して新しい生活に向かえるようにと考えている。

■議員 子どもの健やかな育ちにつながり、保護者が安心して預け先を選べるよう、相談体制の格段の取組と、支援の充実を強く要望する。また昨今、全国的に、送迎バスでの置き去りや保育関係者等による虐待などの事件が頻発し非常に憤りを感じている。本市では、どのように認識し対応しているのか伺う。

■市長 保育所の職場の環境、コロナ禍の様々な対応が重なる多忙などに配慮し、保育士の勤務の在り方にも、可能な限り改善を図れればと思っている。

■議員 保育関係者の困り事などへの相談体制等、どのように取り組んでいるのか伺う。

■子ども総本部長 保育リーダーをはじめ多職種による相談への指導、助言を行っている。子ども総合相談窓口では、保護者や保育士、保育関係者など、子どもに関係する悩みや困り事、全てに丁寧に対応している。

生活困窮状態にある方の就労による自立支援について

■議員 生活困窮状態にある方の就労に関する相談や自立支援計画作成等、コロナ発生前とコロナ禍の相談内容・サポートについて伺う。

■福祉保健部長 生活困窮者の相談対応は、新型コロナウイルスに大きく影響を受けた。コロナ発生後は、相談者の急増により、給付等による経済的な生活基盤を支えることを優先するため、所定の支援計画等の作成はできない状況となった。現在は、相談者の課題把握を行い、課題解決の困難度の高い方については、可能な限り計画策定をし、関係機関と共有、役割分担を行いながら、支援を継続している。

■議員 生活支援や就労支援といった伴走を必要とする方へ十分な声かけができない状況は、現場で対応される方が限られた



むら けんすけ 議員
田村 謙介 議員
【自由創政】



米子市観光広報大使について

■議員 米子駅扇形車庫について平井知事が観光資源になり得ると発言された。私も8年半前から観光活用について訴えてきたが、市長の見解を伺う。

■市長 扇形車庫とともに、転車台によって方向を変え車庫に入入りする仕組み、仕掛けは大変貴重であり、観光資源として非常に価値が高い。現役で使っている施設であり、ツアー以外でも見学できる可能性がないかJRと協議したい。

■議員 このような観光資源がある米子市を広く知らしめていただく観光広報大使について、どのように考えるのか伺う。

■文化観光局長 著名人が就任されるケースが多く、発信する情報は、大きな影響力があるが、米子市は制度は設けていない。

■議員 最近、活躍される米子

市出身の女優、アイドルなどに對し米子市として関係性を持ち発信していくための担当部署が必要ではないか。

■市長 米子市本体にはこうした担当部署がないのが最大の問題であり、御指摘のとおりだと思うので、適時適切に対応ができるよう検討したい。

米子城跡の復元にぎわい創出について・11

■議員 米子駅の新駅舎から米子城跡が望めるが、ビュースポット化できないか。

■文化観光局長 検討したい。

■議員 米子駅前から米子城跡までだんだんバスで、150円で5分などのキャッチフレーズがあれば、ちょっと行ってみようかなってなるのではないかと。

■総合政策部長 米子城跡の観光需要が高まっており、だんだんバスの利用促進にもつながるPR策について検討してみたい。

■議員 米子城にまつわる歴史上の人物の銅像、例えば吉川広家など、設置したらどうか。

■文化観光局長 議員の御提案については米子城のガイダンス機能の中で手法を検討したい。

重層的支援体制整備事業の推進について

■議員 重層的支援体制整備事業の推進の中で、生きがいや自立に通じる伴走型の就労サポートの充実をしっかりと議論していただきたいが見解を伺う。

■福祉保健部長 総合相談支援センターえしこにを設置した。センターは、相談支援だけでなく、当事者との信頼関係を構築しながら、就労に必要な知識・技能の習得や社会参加、自己実現の機会をサポートすることも重要な役割である。今後、就労支援の充実のため、庁内関係部局、関係機関や支援団体等とより緊密に連携し、協議していきたい。

時間、限られた対応しかできないことに一番つらい思いもされているのではないかと想像する。しかし、できる限りの計画支援という現状でいいとはいえない。生活保護・児童扶養手当受給者等も広く現実把握し、必要な人材確保と体制強化を強く求める。

時間、限られた対応しかできないことに一番つらい思いもされているのではないかと想像する。しかし、できる限りの計画支援という現状でいいとはいえない。生活保護・児童扶養手当受給者等も広く現実把握し、必要な人材確保と体制強化を強く求める。



どこう ひとし
土光 均 議員
【よなご・未来】



原発政策に関して政府方針の転換の動きについて

■議員 現在政府は、原発政策に関してこれまでの方針を大きく変更しようとしている。具体的には、運転期間原則40年(最大60年)の延長、そして新增設も行う。市の島根原発の再稼働容認の判断は国の原発に対する方針が変わる前の前提であった。これに関して、市として国に説明を求めるときではないか。

■市長 今後その国の方針がどういう規制基準に影響するのかわからない。規制基準が変更されたようなことがあるのであれば、説明を受ける機会はあるものと思うが、現時点では、案の段階なので国に説明を求める考えはない。

■議員 国の方針が定まった時点で、必要ならば「説明を受ける」のではなく、「説明を求める」ことをすべきである。

原子力防災訓練及び避難計画について



■議員 自家用車で逃げる人は、すぐに車に乗って逃げるのではなく、一旦一時集結所に歩いて立ち寄って、戻って、それから行く計画では定められているがなぜか。

■総務部長 安定ヨウ素剤を受け取るためである。

■議員 市は安定ヨウ素剤の事前配布をしているが、まだ受け取っている人はわずかなので、そのようにせざるを得ない。

■議員 バスで避難の際、訓練時は職員が同乗していたが、計画上もそのようになっていないか。

■総務部長 市や県の職員は同乗することになっていない。

■議員 訓練は計画どおりで行うべきである。訓練で事故等、安全性の懸念から実行できないものは、本番でもっとできないと考えるべきである。

3月定例会日程

2月27日(月)	本会議(開会、議案上程)	13日(月)	予算決算委員会(全体会)
3月 1日(水)	本会議(代表質問)	14日(火)	総務政策委員会、予算総務政策分科会
2日(木)	本会議(代表質問)	15日(水)	民生教育委員会、予算民生教育分科会
3日(金)	本会議(代表質問)	16日(木)	都市経済委員会、予算都市経済分科会
7日(火)	本会議(代表質問)	20日(月)	予算決算委員会(全体会)
8日(水)	本会議(代表質問)	23日(木)	本会議(付議案の処理、閉会)
9日(木)	本会議(各個質問、議案質疑、委員会付託)		

※請願・陳情は、2月22日(水)の正午までに議会事務局に提出してください。

市議会のホームページで 本会議の録画配信がごらんいただけます

市議会だよりは、紙面の都合上、本会議の概要のみを掲載しています。今号から各個質問のページに二次元コード(QRコード)を貼り付けました。お持ちのスマートフォンやタブレットから読み込むことで、各議員の質問内容や市当局の答弁を録画配信でご視聴いただけます。

紙面では掲載しきれない議会での議論をインターネット上でご確認ください。

また、市議会のホームページには、録画配信以外にも市議会に関するさまざまな情報を掲載しています。

市議会だよりとあわせて、ぜひご覧ください。

- 市議会インターネット中継、録画配信
- 本会議、委員会の会議録
- 本議会、委員会及び全員協議会の日程
- 議員の紹介
- 傍聴のご案内
- 議長交際費
- 政務活動費
- よくある質問 など



スマートフォン、
タブレットからも
ごらんになれます。

表紙写真・イラストの募集を終了します

よなご市議会だよりを身近な広報紙とするため、平成30年11月1日発行号より、表紙に掲載する写真・イラストを随時募集しておりましたが、より皆様に親しまれ、読みやすい市議会だよりにするために、市議会だよりをリニューアルすることとしております。

長きにわたり作品を募ってまいりましたが、今号をもちまして表紙写真・イラストの募集を終了いたします。今まで、表紙を飾っていただいた方、応募していただいた方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

新しい市議会だよりにご期待ください。

令和4年米子市議会12月定例会提出議案等審議結果一覧表

●賛否が分かれた議案及び陳情●

議案等番号	件名	議決結果	自由創政		
			稲田清	岩崎康朗	岡田啓介
議案第86号	米子市特別職の職員の給与に関する条例及び米子市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議	○	○
議案第89号	米子市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議	○	○
議案第93号	事業契約の締結についての議決の一部変更について	原案可決	議	○	○
議案第94号	令和4年度米子市一般会計補正予算(補正第6回)	原案可決	議	○	○
議案第101号	令和4年度米子市一般会計補正予算(補正第7回)	原案可決	議	○	○
陳情第10号	子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	議	×	×
陳情第11号	会計年度任用職員の処遇改善に向けた法改正と雇用安定を求める陳情	不採択	議	×	×
陳情第16号	いわゆる霊感商法など、悪徳商法の被害の実態解明と対策強化について(陳情)	不採択	議	×	×
陳情第17号	いわゆる旧統一協会に関する関係性の調査について(陳情)	不採択	議	×	×
陳情第18号	公共施設におけるネット環境の整備について(陳情)	不採択	議	×	×

●全会一致で議決した議案等●

議案等番号	件名	議決結果
議案第84号	米子市市税条例等の一部を改正する等の条例の制定について	原案可決
議案第85号	米子市一般職の職員の給与に関する条例及び米子市任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第87号	米子市職員の退職手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第88号	米子市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の市費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第90号	米子市特別医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第91号	米子市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第92号	米子市フレイル対策推進基金条例の制定について	原案可決
議案第95号	令和4年度米子市国民健康保険事業特別会計補正予算(補正第1回)	原案可決

●陳情の議決結果の理由等①●

陳情第10号	<p>【不採択とした理由】</p> <p>①来年度子ども子育て予算が倍増していくということについて、財源が明らかではないという問題提起があったが、国においてしっかり取り組まれるべきであり、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策の中で保育士や看護師、介護士などを対象に収入を3%引き上げるための措置を令和4年2月から前倒ししているため。</p> <p>②国としても公定価格のあり方を抜本的に見直すことを決定し、適切な措置が講じられているため。</p> <p><賛成意見></p> <p>①最近の保育施設での虐待事件の頻発を見ても保育現場の限界を超えてきていると感じている。保育の質を保つという意味で配置基準の見直しは必要だと考える。</p> <p>②全国市長会で保育士配置基準の引き上げを求めているということであるので、米子市としてもそういう立場であると思う。</p> <p>③国においては、来年度も家庭庁を設置して保育に関わる予算も倍増すると聞いているが、財源がどうなるのかということに対して、今、この時点で意見書を上げるべきである。処遇改善のため国が公定価格などで支援するということがまだまだ足りないと感じている。</p> <p><反対意見></p> <p>①来年度子ども子育て予算が倍増していくということについて、財源が明らかではないという問題提起があったが、国においてしっかり取り組まれるべきであり、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策の中で保育士や看護師、介護士などを対象に収入を3%引き上げるための措置を令和4年2月から前倒ししている。</p> <p>②国としても公定価格のあり方を抜本的に見直すことを決定し、適切な措置が講じられている。</p>
--------	--

○：賛成 ×：反対 議：議長

賛否の状況																						
自由創政					よなご・未来					公明党議員団					信風			日本共産党米子市議団		無所属	無所属	
奥岩浩基	門脇一男	田村謙介	塚田佳充	戸田隆次	西野太一	渡辺稜爾	国頭靖	土光均	松田真哉	吉岡古都	今城雅子	津田幸一	徳田博文	矢田貝香織	安達卓是	伊藤ひろえ	大下哲治	中田利幸	錦織陽子	又野史朗	森田悟史	森谷司
○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×
×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×

議案等番号	件名	議決結果
議案第96号	令和4年度米子市介護保険事業特別会計補正予算(補正第2回)	原案可決
議案第97号	令和4年度米子市後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第1回)	原案可決
議案第98号	令和4年度米子市水道事業会計補正予算(補正第1回)	原案可決
議案第99号	令和4年度米子市下水道事業会計補正予算(補正第3回)	原案可決
議案第100号	財産の取得について	原案可決
議案第102号	令和4年度米子市米子インター西産業用地整備事業特別会計補正予算(補正第1回)	原案可決
議案第103号	令和4年度米子市下水道事業会計補正予算(補正第4回)	原案可決
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意



令和4年米子市議会12月定例会提出議案等審議結果一覧表

●陳情の議決結果の理由等②●

陳情第11号	<p>【不採択とした理由】 ①この制度で仕事をしている方は労働条件や賃金条件を認識した上で応募して任用が行われていると考える。そのため、正規職員に向かうことや違う職種で正社員を目指すことも自由に行われることであり、この制度に対して手当を付けるということが本場に大きなことなのか疑問であり、また、こうした条件については、労使間の交渉の過程で決まることを尊重すべきであり、議会のほうから介入するのはいかがなものかと考えるため。 ②令和2年に本制度がスタートし、期末手当の支給も可能となったことから、処遇改善の方向に進んでいると思っているが、勤勉手当については、大きな予算を要する問題であり、非常に慎重にならざるを得ないことから、引き続きの検討課題とすべきであると考えため。</p> <p><賛成意見> 米子市も定員数の不足により、非常に重要な相談窓口なども正規職員以外の会計年度任用職員が担っている実態があり、同一労働同一賃金の観点からも、処遇改善に向けた法改正と雇用安定は進めていく課題であり、その財源は国に求めたい。</p> <p><反対意見> ①この制度で仕事をしている方は労働条件や賃金条件を認識した上で応募して任用が行われていると考える。そのため、正規職員に向かうことや違う職種で正社員を目指すことも自由に行われることであり、この制度に対して手当を付けるということが本場に大きなことなのか疑問であり、また、こうした条件については、労使間の交渉の過程で決まることを尊重すべきであり、議会のほうから介入するのはいかがなものかと考える。 ②令和2年に本制度がスタートし、期末手当の支給も可能となったことから、処遇改善の方向に進んでいると思っているが、勤勉手当については、大きな予算を要する問題であり、非常に慎重にならざるを得ないことから、引き続きの検討課題とすべきであると考え。</p>
陳情第16号	<p>【不採択とした理由】 12月10日に被害者救済法が成立し、法体系の出来上がった状態であるため国として責任をもって進めていただきたいと考えるため。</p> <p><賛成意見> 全国霊感商法対策弁護士連絡会の山口弁護士は、被害者救済法の問題点として家族被害の救済がなされない、禁止行為の範囲の適用対象が狭すぎて配慮義務の実効性も不十分、個人への寄付が規制対象から外れているなど被害者救済の幅が広がったとは到底言えないと声明を出しておられ、被害者救済法は成立したとはいえ、被害の実態に照らしてきわめて不十分であることから意見書を提出することを求める。</p> <p><趣旨に賛同する意見> 消費者相談窓口を設置しているように被害者への対応は市に第一義的な責任があると考え。市は取組を行っているが、まだまだ踏み込みが少ないという印象であるため、議会としては本市に対してしっかりと取り組むよう求めるのが筋だと思うため、本陳情の趣旨には賛同する。</p> <p><反対意見> 12月10日に被害者救済法が成立し、法体系の出来上がった状態であるため国として責任をもって進めていただきたいと考える。</p>
陳情第17号	<p>【不採択とした理由】 ①既に被害者救済法が成立している現在、この問題の局面は次の段階に移りつつあり、これ以上やみくもに思想・信条等を攻撃するようなことはやるべきではないため。 ②この問題については、自主申告が基本であるとともに、個々の議員で判断をして対応していくべきものであり、議会として調査をするという考え方はなじまないため。 ③議会がその権限の下で全議員に対して調査をしていくこと、その上でこれを公表することは、思想及び良心、沈黙の自由を定めた日本国憲法第19条及び信教の自由を定めた第20条に抵触するおそれがあるため。</p> <p><賛成意見> ①これは思想・信条の問題ではなく、社会的に問題のある活動をしている団体との関わりについてであり、米子市議会として、それぞれの議員がどういう関係があったのかということ調査・公表し、市民に対し団体との関係性を明らかにすべきであり、当然市民もそれを知らなければならない。 ②具体的な質問項目に関しても、漠然と関係性を調査ということではなく、これまでのマスコミ等の調査項目を参考とし、社会的に問題のある活動をしている団体の影響がどのように地方議員に広まっているのかという視点で、議会で検討して決めればよいことである。</p> <p><反対意見> ①既に被害者救済法が成立している現在、この問題の局面は次の段階に移りつつあり、これ以上やみくもに思想・信条等を攻撃するようなことはやるべきではない。 ②この問題については、自主申告が基本であるとともに、個々の議員で判断をして対応していくべきものであり、議会として調査をするという考え方はなじまない。 ③議会がその権限の下で全議員に対して調査をしていくこと、その上でこれを公表することは、思想及び良心、沈黙の自由を定めた日本国憲法第19条及び信教の自由を定めた第20条に抵触するおそれがある。</p>
陳情第18号	<p>【不採択とした理由】 ①常設してあるWi-Fiが災害時にもきちっと動くか疑問であり、各通信会社が災害時には移動式の基地局を設置するため、そのほうが確実と考えるため。 ②既に公共施設には個人の使用に対しての提供ではなく、公共の仕事をする上で設置目的に合わせた形でネット環境が整備されており、災害を理由に全部の公共施設にWi-Fiを設置するのは現実的ではないと思うため。</p> <p><趣旨に賛同する意見> 公共性を担保しながら、避難所等となり得る公共施設にネット環境の整備をすることは必要であると思うため、本陳情の趣旨には賛同する。</p> <p><反対意見> ①常設してあるWi-Fiが災害時にもきちっと動くか疑問であり、各通信会社が災害時には移動式の基地局を設置するため、そのほうが確実と考える。 ②既に公共施設には個人の使用に対しての提供ではなく、公共の仕事をする上で設置目的に合わせた形でネット環境が整備されており、災害を理由に全部の公共施設にWi-Fiを設置するのは現実的ではないと思う。</p>

委員会で行政視察を行いました

3つの常任委員会が所管に関する行政課題や事例の調査・研究のため、先進市への行政視察を実施しました。
※実施した順に掲載しています。

民生教育委員会

視察日：令和4年10月31日・11月1日・11月2日

- 埼玉県上尾市 おくやみ窓口について
- 栃木県真岡市 ICTを活用した学校推進事業について
- 東京都八王子市 大腸がん検診・精密検査受診率向上のSIB導入モデル事業について

栃木県真岡市の行政視察について

ICTは、タブレット等の機器を導入して、「それで終わり」ではなく、それらをいかに使うかがポイント。各児童生徒の意見、考え、作品、実験結果などを、すぐに全体で共有（画面にそれらを映す）しながら授業を進めていく様子を見ることができた。本市においても、そのような授業が実現しているかどうか改めて検証したい。



総務政策委員会

視察日：令和4年11月1日・11月2日

- 香川県高松市 多核連携型コンパクト・エコシティについて
- 大阪府大東市 大東市東部地域乗合タクシー事業について

（保険ではなく予備機を備え交換の方が現実的）、家庭での無制限の使用にならないようソフトの夜間の起動制限を設けるな

どの具体的なノウハウを知ることができ、本市においても参考になる。

大阪府大東市の行政視察について

本市は市域面積が広いことから、南部地域や弓浜地域、淀江地域など、公共交通として「デマンド交通」が必要なのではないかと、これまで議論を重ねてきているが、費用対効果や民間事業者との協議、周辺自治体や県との協議など、様々な課題が山積している。

このような本市の現状に、市域面積は圧倒的に小さい大東市ではあるが、東部地域の山間地で、交通弱者になりかねない住民に対して、「乗合タクシー」の運行を開始された



経緯と考え方は、非常に勉強になり示唆に富む内容だと感じた。今回の視察は、本市の公共交

通のあり方と対策についての一助となりうる内容であり、今後、

執行部にもしっかりと提案して参りたい。

都市経済委員会

視察日：令和4年11月8日・11月9日

●宮城県石巻市 かわまち交流拠点事業

●福島県いわき市 21世紀の森公園 スケートボード広場

宮城県石巻市の行政視察について

このたび、石巻市の「かわまち交流拠点整備事業」について視察した。石巻市は、東日本大震災後飛躍的に復興されており、その基本的概念は「かわまち交流拠点事業」を核に市民や観光客が集える憩いの場を提供し、にぎわいの創出・地域の活性化を図ろうとしている。同市においては観光客が年に約130万人訪れている一方、周辺の商店街等の衰退は著しく、その対策は急務であるとのことであった。

本市においても、かわまちづくり事業については、事業推進が図られているが、パース図によると市民・観光客が集える憩いの場のスペースが少なく、石巻市のような様態は見込めないと思料する。また、米子駅、彫



刻ロード、米子城跡、湊山公園、かわまちの人流・回遊性について十分に検討する必要がある。本市においてはウォークアブルが推奨されているが、市民の理解度は薄いと感ずる。

石巻市のかわまち交流拠点整

備事業については、東日本大震災復興のまちづくりの一環として取り組まれたと拝察する。本市においては、漁港跡地利用計画としてかわまちづくりを推進するが、現計画においては人が集まる仕掛けが乏しく、コンセプトがない。

石巻市の事業の財源については復興交付金を活用しており、ほぼ99%が国費で賄われているが、本市では国土交通省の補助金を活用するため、補助率は低く、一般財源の充当率は高い。また、本事業に隣接する県有地については、準工業地に変更されたところであり、民間の進出しやすい環境の醸成が急務であり、県との調整が求められる。本市のかわまち事業の推進については理解できるが、財源・民間の参入促進・人流回遊促進に係る方策等について十分に検討する必要がある。

このたびの視察研修において習得した内容を基に、米子市議会12月定例会で活発的に議論したい。

委員会行政視察の報告書を市議会ホームページに掲載しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

米子市議会事務局 〒683-8686 米子市加茂町一丁目1番地

TEL: (0859) 32-0302 FAX: (0859) 35-6464

メール: gikai@city.yonago.lg.jp

米子市議会

検索

URL: <https://www.city.yonago.lg.jp/gikai/>

ご意見等ありましたら、電話・FAX・メール等でお寄せください。



広報広聴委員会

◎西野 太一

◎伊藤ひろえ

岩崎 康朗

門脇 一男

錦織 陽子

森田 悟史

矢田貝香織

吉岡 古都

◎委員長 ◎副委員長